

公開講座「山村再生 総論」

- 日時👉 2014年6月24日(火) 14:40～16:10
会場👉 東京農業大学世田谷キャンパス1号館131教室
講師👉 小田切徳美先生 明治大学農学部教授
主催👉 地域環境科学部森林総合科学科、農山村支援センター
参加費無料、事前受付なし。どなたでも参加できます

小田切徳美先生プロフィール

専門領域：農業・農村政策の政治経済学的分析、農村ガバナンス論
1959年、神奈川県生まれ。東京大学大学院農学研究科博士課程単位取得退学（農学博士）。(財)農政調査委員会専門調査員、高崎経済大学助教授、東京大学大学院助教授などを経て、明治大学農学部教授(食料環境政策学科)。専攻は農政学・農村政策論、地域ガバナンス論。地域リーダー養成塾主任講師((財)地域活性化センター)などを兼任。

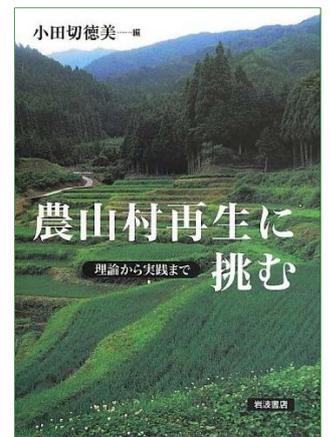
近著等

「地域サポート人材による農山村再生」(JC総研ブックレット) 共著 (2014/4)

「大学・大学生と農山村再生」(JC総研ブックレット) 共著 (2014/4)

「農山村再生に挑む——理論から実践まで」(2013/8)

「農山村再生「限界集落」問題を超えて」(2009/10)



里山林づくりのてびき(農山村支援センター2012より)

(開催趣旨)日本の農山村、とりわけ山村においては、過疎高齢化がすすみ、多くの集落で生活、生業が成り立たなくなる危機を迎えています。山村の危機は、森林や源流域の保全の危機であり、食料、エネルギー、災害防止など、都市機能にも大きな影響を与えます。いま、ここで手を打たなければ、日本の将来に大きな禍根を残します。そこで、農山村支援センターでは、山村振興をテーマにした、研究と取組を行っています。

東京農業大学の基盤は「人物を畑に還す」です。山村に人が還り、仕事と暮らしが成り立つにはどうすればいいのか、具体的な事例や取組、課題解決に向けた知見と議論を深める一環として、公開講座を開催し、ディスカッションを行います。

(森林総合科学科 宮林茂幸教授の授業の一環として実施するものです)